

てんどう政治

県政報告シリーズ

山形県政 天童の目線 **5**

●山形県議会議員
矢吹 栄修 (やぶき・えいしゅう)

やぶしゅう通信
2013年 春号

モンテデイオ山形を応援しよう!

天童こそ一番環境が整っている

山形市長が突然、全天候型のサッカースタジアムをつくらせてモンテデイオのホームを誘致するという発言をし、波紋を呼んでいます。天童選出の県議員としてはいささかも容認できないような発言は、いま活発に運動している最中です。

サッカー専用スタジアムを取り巻く情勢



今回の山形市長の発言は、理解しがたいものでした。また、「山形市は県都だから」とか「山形にあれば観客が増える」という投書や風潮がありますが、これも無理な話です。人口の多い県都だからと誘致できるなら、「県内の均衡ある発展」など望むべくもありませんし、県都がゴミ処理施設は自分のところにはほしくないが、いい施設はかりは欲しいというのでは、とてもにもまらつくりを語れません。さらに、山形駅の横に駐車場のないスタジアムをつくる、というのも利便性が下がるばかりで集客につながりませんし、本場に応援に来たことがあるならば、いかに駐車場と周辺の交通が大変なのかわかるはずですが、そもそも車で30分の天童での試合に来なかった人が、山形市にならざるを得ない話です。

悲しいのは、「モンテデイオ」の天童のものじゃないだろ「う」なごとう批判がよせられていくことです。我々はそのことを言うつもりはありませんし、これまで県民みんなでモンテデイオを応援しようと地元が率先して

このように批判的なことを書くことが不快に思う方もいるでしょうし、天童と山形が対立して誘致合戦をす

まず、「サッカー専用スタジアム」にはどれくらいの建設費がかかるかという、サガン鳥栖のスタジアムで約70億円です(図参照)。観客席に屋根がかかかっており、ピッチには屋根がかかかっていません。こういったスタジアムをぜひ天童につくりたいと私は思っています。しかし、このスタジアムは雪が降る真冬に試合するには適していないのです。

山形市長が論拠としたJリーグの「秋春制」への移行は、冬に試合をすること重みを考えればもっと予算がかかるでしょう。そして

たとしても、真冬に天然芝を育てられるかは疑問です。もし人工芝を認めるならばもう少し予算を抑えられるかもしれませんが、とても70億円ではできません。つまり、冬の試合開催は非常に困難で莫大な予算がかかるわけで、我々北国の方は、団結して秋春制移行に反対する方が先なのです。地域密着を唱えるJリーグも、設備をそろえられないからリーグから切り捨てるなどということはありません。

サッカー専用スタジアムをつくるために必要なのは、まずはなにより広大な敷地と、スタジアムそのものと、駐車場、ミーティングルームや練習場などのハードです。

広大な敷地は転がっているわけではなく、土地を買うとしても、所有者の同意や農地転用などの諸問題が必ずあります。さらに、市街から遠く離れるなら、利便性という意味で本末転倒です。まして新たに土地を買って、新たにハードを整備するには、70億円などというお金ではすまない莫大な予算がかかることは自明の理です。

また、たまたま市街地で

冬でも全試合ホームで試合ができる全天候型ドームをつくるのには、どの建設費がかかるのか。Jリーグは人工芝での試合を認めていませんから、天然芝のピッチをつくらねばならないのですが、スタジアムを屋根で覆う「ドーム」では、人工芝しかできません。そこで大分のような開閉式の屋根にするか、札幌のように天然芝のピッチそのものをスライドさせて外に出し、天然芝に陽をあてる必要があります。大分ドームの建設費は二百数十億円。山形で降る雪の重みがかかるとは自明の理です。

サッカー専用スタジアムをつくるためには、必要なのは、まずはなにより広大な敷地と、スタジアムそのものと、駐車場、ミーティングルームや練習場などのハードです。

広大な敷地は転がっているわけではなく、土地を買うとしても、所有者の同意や農地転用などの諸問題が必ずあります。さらに、市街から遠く離れるなら、利便性という意味で本末転倒です。まして新たに土地を買って、新たにハードを整備するには、70億円などというお金ではすまない莫大な予算がかかることは自明の理です。

また、たまたま市街地で

また、たまたま市街地で

また、たまたま市街地で



▲ベストホームスタジアム (サガン鳥栖)

冬でも全試合ホームで試合ができる全天候型ドームをつくるのには、どの建設費がかかるのか。Jリーグは人工芝での試合を認めていませんから、天然芝のピッチをつくらねばならないのですが、スタジアムを屋根で覆う「ドーム」では、人工芝しかできません。そこで大分のような開閉式の屋根にするか、札幌のように天然芝のピッチそのものをスライドさせて外に出し、天然芝に陽をあてる必要があります。大分ドームの建設費は二百数十億円。山形で降る雪の重みがかかるとは自明の理です。

また、たまたま市街地で

Profile プロフィール
矢吹 えいしゅう Eisyuu Yabuki

- ◇昭和49年 天童市小路に生まれる地元の南部小学校、天童第一中学校卒業
- ◇平成5年 山形東高校卒業
- ◇平成9年 東北大学文学部卒業
- ◇平成11年 立正大学大学院修士課程修了
- ◇同 年 日蓮宗信行道場にて修行を終え、僧侶の資格を得る
- ◇平成12年 百日の大荒行を満行
- ◇現在 天童妙法寺副住職
- ◇趣味 読書と執筆、スキー、野球、バスケット等のスポーツ
- ◇信条 代案なき批判をしない理想の灯を照らして、現実の暗い道をいく

特別支援学校の分校誘致へ

天童選出の両県議でがんばっていた、特別支援学校の分校が天童にできることとなりました。以前から熱望されていたもので、私も非常にうれしく思います。計画としては、津山小学校の空き教室を利用し、施設整備の上、平成26年4月の開校予定です。開校しても恩恵にあずかれない人がいて、もっと多くが求められるでしょう。規模拡大も視野に入れ、今後がんばります。

また、私が要望していた不妊治療の助成も拡大されることとなりました。その他にもいくつかありますが、主張を実現させ、少しでも市民の方のためになるよう努力する所存です。

建設常任委員長就任のご挨拶

この度、建設常任委員長を拝命することとなりました。伸びゆく天童にとって重要な分野であり、意欲を燃やしているところです。ただ若輩で浅学非才の身なので、ぜひ建設業者の方々や市民の皆様からご指導いただき、ご意見を賜ればと思います。

また特別委員会は、中小企業振興対策特別委員会に所属します。雇用創出と経済活性化のため、努力してまいります。

トピックス

特別支援学校の分校誘致へ

天童選出の両県議でがんばっていた、特別支援学校の分校が天童にできることとなりました。以前から熱望されていたもので、私も非常にうれしく思います。計画としては、津山小学校の空き教室を利用し、施設整備の上、平成26年4月の開校予定です。開校しても恩恵にあずかれない人がいて、もっと多くが求められるでしょう。規模拡大も視野に入れ、今後がんばります。

また、私が要望していた不妊治療の助成も拡大されることとなりました。その他にもいくつかありますが、主張を実現させ、少しでも市民の方のためになるよう努力する所存です。

建設常任委員長就任のご挨拶

この度、建設常任委員長を拝命することとなりました。伸びゆく天童にとって重要な分野であり、意欲を燃やしているところです。ただ若輩で浅学非才の身なので、ぜひ建設業者の方々や市民の皆様からご指導いただき、ご意見を賜ればと思います。

また特別委員会は、中小企業振興対策特別委員会に所属します。雇用創出と経済活性化のため、努力してまいります。

天童、躍動! **山形県議会議員 矢吹えいしゅう事務所**

ご意見をお寄せください。皆様のお声をお届けします。

- 政治に関すること
- 日々の生活に関すること
- 山形県政、天童市政に対する疑問・質問など

〒994-0049 山形県天童市南町2-1-29 メール2号
TEL.023(674)8553 FAX.023(674)8554